

「モーセに勝る イエス・キリスト」

ヘブル書 3章2～6節

モーセが

神の家全体の中で

忠実であったのと同様に

イエスは

ご自分を立てた方に対して、忠実でした。

家よりも

家を建てる人が

大いなる栄誉を持つのと、同じように

イエスは、モーセよりも大いなる栄光を受け  
るに、ふさわしいとされました。

家は、それぞれだれかが、建ててるのですが  
すべてのものを造られたのは、神です。

モーセは

後に語られることを、証しするため  
神の家全体の中で、しもべとして忠実でした。

しかしキリストは

御子として、神の家を治めることに  
忠実でした。

そして、私たちが、神の家です。

もし確信と、希望による誇りを  
持ち続けさえすれば、そうなのです。

## 第1の戒め・奨め

こういうわけで

私たちは、聞いたことを

ますます、しっかりと心に留め

押し流されないように

しなければなりません。

へブル書 2章1節

## 第2の戒め・奨め

ですから

天の召しにあずかっている聖なる兄弟たち。

私たちが告白する、使徒であり

大祭司である、イエスのことを考えなさい

へブル書 3章1節

## 本日のポイント

- I. モーセは、**神の家** (の管理) に忠実であり  
イエスは、**神** に忠実であられた
  
- II. モーセは、後に語られること (**影**) に仕えたが  
イエスは、その**成就 (実体)** であられる
  
- III. モーセは、しもべとして  
神の家の管理に忠実であったが  
イエスは、**御子** として、**神の家を治める** ことに  
忠実であられる

I. モーセは、神の家全体に

忠実であり

イエスは、神に忠実であられた

モーセが  
神の家全体の中で  
忠実であったのと同様に

イエスは  
ご自分を立てた方に対して、忠実でした。

家よりも  
家を建てる人が  
大いなる栄誉を持つのと、同じように

イエスは、モーセよりも大いなる栄光を  
受けるに、ふさわしいとされました。



…主は、(アロンとミリアムに)、言われた。

「聞け、わたしのことばを。

もし、あなたがたの間に、預言者がいるなら  
主であるわたしは

幻の中でその人に、わたし自身を知らせ  
夢の中で、その人と語る。

だが、わたしのしもべモーセとは  
そうではない。

**彼は、わたしの全家を通じて忠実な者**

彼とは、わたしは、口と口で語り

明らかに語って、謎では話さない。

彼は、主の姿を仰ぎ見ている…

Ⅱ. モーセは、後に語られること(影)に

仕えたが

イエスは、その成就(実体)であられる

家は、それぞれだれかが、建てるのですが  
すべてのものを造られたのは、神です。

モーセは

後に語られることを、証しするために  
神の家全体の中で、しもべとして忠実でした。

しかしキリストは

御子として、神の家を治めることに  
忠実でした。

こういうわけですから  
食べ物と飲み物について  
あるいは

祭りや新月や安息日のことで  
だれかがあなたがたを

批判することがあってはなりません。

これらは

来たるべきものの**「影」**であって

**「本体」**は、キリストにあります。

コロサイ 2章 16 ～ 17 節

したがって

ささげ物をする祭司たちがいるからです。

この祭司たちは

**天にあるものの写しと影**に仕えています。

それは、モーセが幕屋を設営しようとしたときに、御告げを受けたとおりのものです。

神は

「よく注意して

山であなたに示された型どおりに

すべてのものを、作らなければならない」

と、言われました。

キリストも、多くの人の罪を負うために  
一度ご自分を献げ

二度目には、罪を負うためではなく

ご自分を待ち望んでいる人々の救いのため  
に現れてくださいます。

律法には

来たるべき良きものの影はあっても

その**実物**はありません。

へブル 9章 28〜

— 10章 1節

大祭司



影



影

幕屋

モーセは、影・写しに仕えたが

影・写しの実体・実物は

イエス・キリストで(に)ある



Ⅲ. モーセは、しもべとして  
神の家の管理に忠実であったが

イエスは、御子として  
神の家を治めることに  
忠実であられる

家は、それぞれだれかが、建てるのですが  
すべてのものを造られたのは、神です。

モーセは

後に語られることを、証しするため  
神の家全体の中で、**しもべ**として忠実でした。

しかしキリストは

**御子**として、**神の家を治める**ことに  
忠実でした。

そして、私たちが、神の家です。

もし確信と、希望による誇りを  
持ち続けさえすれば、そうなのです。

たとえ遅くなった場合でも

神の家で、どのように行動すべきかを  
あなたに知っておいてもらうためです。

神の家とは

真理の柱と土台である

生ける神の教会のことです。

第一テモテ 3章 1-5節

家は、それぞれだれかが、建てるのですが  
すべてのものを造られたのは、神です。

モーセは

後に語られることを、証しするため  
に神の家全体の中で、しもべとして忠実でした。

しかしキリストは

御子として、**神の家**を治めることに  
忠実でした。

そして、**私たちが、神の家**です。

もし確信と、希望による誇りを  
持ち続けさえすれば、そうなのです。

あなたがた自身も、**生ける石**として

**霊の家**に築き上げられ

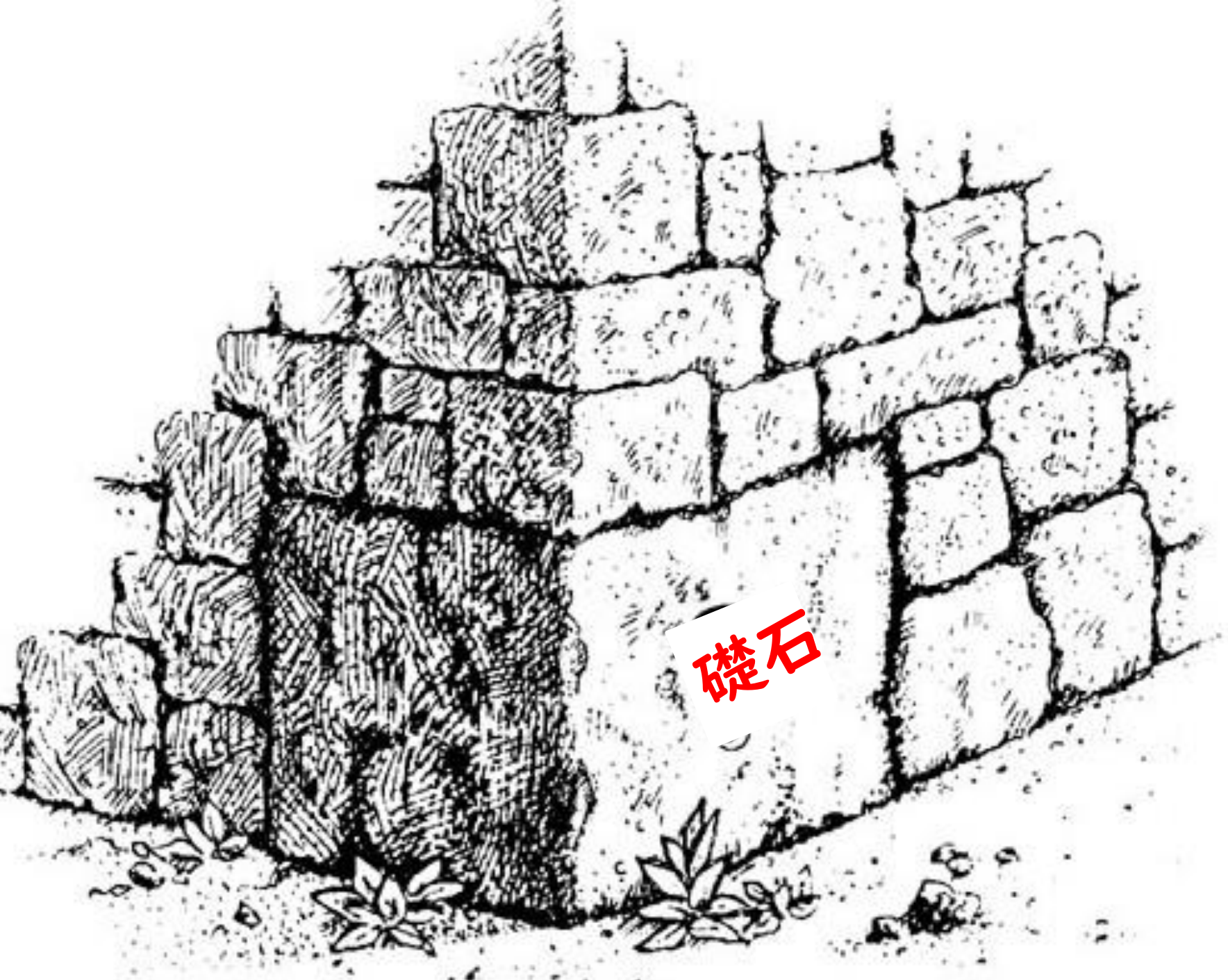
神に喜ばれる**霊のいけにえ**を

イエス・キリストを通して**献げる**

**聖なる祭司**となります。

第一ペテロ 2章 5節

キリスト・イエスご自身がその礎石です。



礎石

エペソ 2章 18〜22節

このキリストを通して

私たち二つのものが

一つの御霊によって

御父に近づぐことができるとです。

こういうわけで、あなたがたは

もはや、他国人でも寄留者でもなく

聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです。

使徒たちや預言者たちという土台の上に

建てられていて

キリスト・イエスご自身が、その要の石(礎石)です。

このキリストにあつて、建物の全体が組み合わされて成長し、主にある聖なる宮となります。

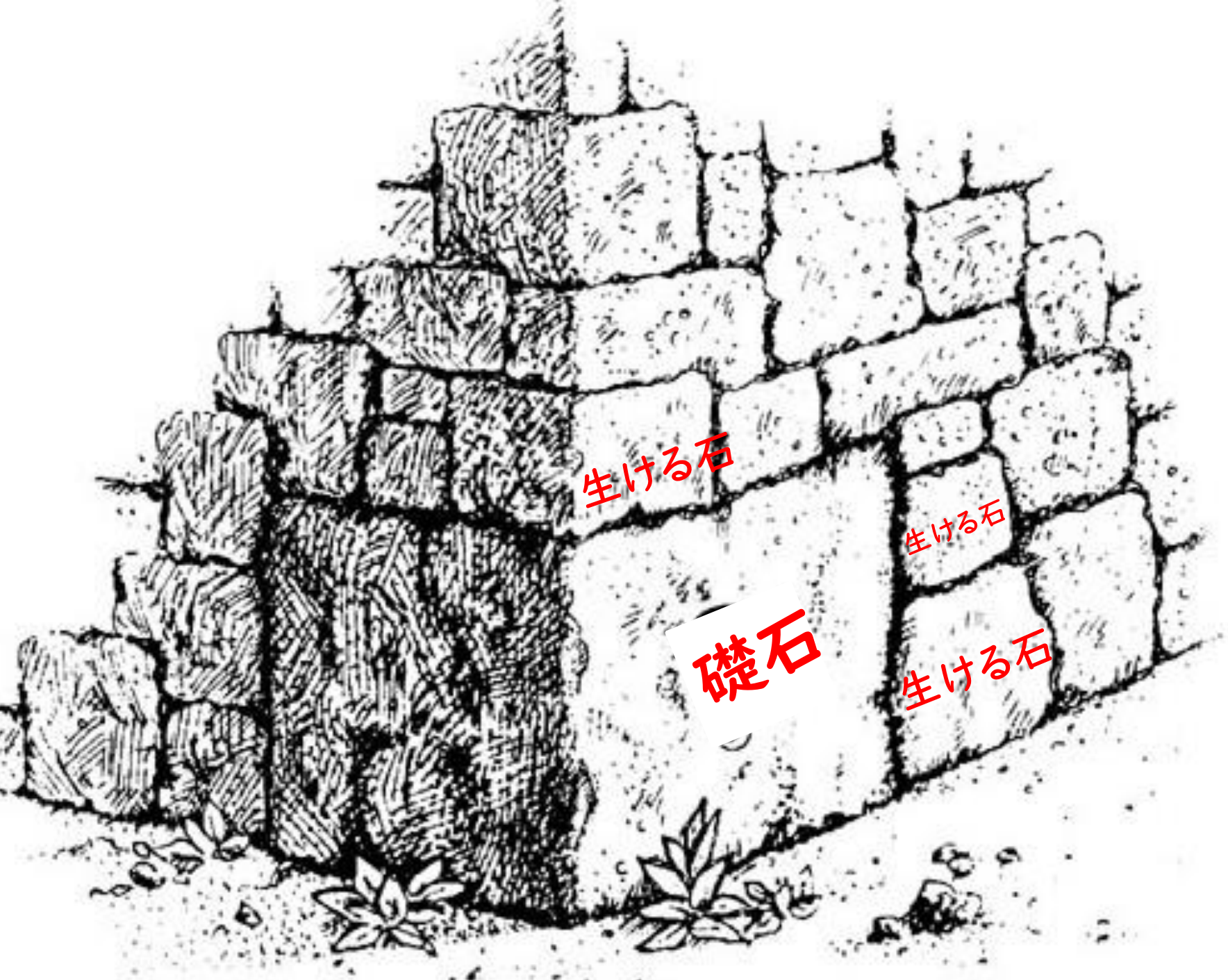
あなたがたも、このキリストにあつて

ともに築き上げられ

御霊によって、神の御住まいとなるのです。



キリスト・イエスご自身がその礎石です。



生ける石

生ける石

礎石

生ける石



このキリストを通して

私たち二つのものが

一つの御霊によって

御父に近づぐことができるとです。

こういうわけで、あなたがたは

もはや、他国人でも寄留者でもなく

聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです。

使徒たちや預言者たちという土台の上に

建てられていて

キリスト・イエスご自身が、その要の石(礎石)です。

このキリストにあつて、建物の全体が組み合わされて成長し、主にある聖なる宮となります。

あなたがたも、このキリストにあつて

ともに築き上げられ

御霊によって、神の御住まいとなるのです。

詩篇 118篇 21〜23節

私はあなたに感謝します。

あなたが私に答え

私の救いとなられたからです。

家を建てる者たちが捨てた石

それが、**要の石(礎の石)**となった。

これは、主がなさったこと。

私たちの目には不思議なことだ。

イザヤ 28章 16節

見よ

わたしはシオンに

一つの石を、礎として据える。

これは

試みを経た石

堅く据えられた礎の、尊い要石（礎石）

これに信頼する者は

慌てふためくことがない。

私たちは、ひとりひとりが「**生ける石**」であり

「**教会**」(目に見えない教会・目に見える教会)は、

それを材料として、建てられ、成長する

「**生ける建物(霊の家・神の住まい)**」である。

家は、それぞれだれかが、建てるのですが、すべてのものを造られたのは、神です。

モーセは

後に語られることを、証しするため、神の家全体の中で、しもべとして忠実でした。

しかしキリストは

御子として、神の家を治めることに忠実でした。

そして、私たちが、神の家です。

もし**確信**と、**希望**による誇りを

持ち続けさえすれば、そうなのです。